

平成29年度 年間授業計画

都立竹早高等学校

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	2
担当者	八木 秀明			単位数	3
使用教科書	『日本史B 改訂版』(山川出版社)				
使用教材	『最新日本史図表』(第一学習社)『詳説日本史史料集』(山川出版社)『ゼミナール日本史』(浜島書店) 自作プリント				
教科・科目の指導目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、日本国民としての自覚と資質を養う。				

月	期間	指導内容	具体的な指導目標	予定時数
4月5月	1学期中間考査	日本史概観 国際環境の変化と明治維新 1 19世紀世界の動向と日本 2 開国と倒幕 開国前夜の日本 開国と幕末政治の展開 大政奉還と戊辰戦争	○日本史の基本的な展開について概観する。 ○18世紀末以降、列強が日本に接近する中、幕府が鎖国体制を守ろうとする一方で、商品経済が発展し幕藩体制が大きく動揺していたことを理解させる。 ○老中水野忠邦による天保の改革が失敗し幕府の権威が失墜する一方で、財政改革や富国強兵に成果を上げた雄藩が成長していたことを理解させる。 ○開国後の政治の主導権を巡る幕府・雄藩・朝廷と尊攘派勢力による争いの経緯をたどり幕の動きが高まることを認識させる。 ○大政奉還後、王政復古の号令により倒幕派が樹立した新政府が旧幕府勢力を排除し、それが明治維新にどう影響を与えたのかを考察させる。	18
6月7月	1学期期末考査	3 明治新政府の諸改革と社会の変化 4 明治初期の外交と反政府運動 近代国家の成立と国際関係の推移 1 自由民権運動の展開 2 立憲体制の成立 帝国憲法の編纂と初期議会 条約改正の経過	○版籍奉還・廃藩置県により天皇を中心とした明治政府の政治的統一が達成され、地租改正により政府の経済的基盤が成立したことを学ぶ。 ○岩倉使節団の派遣と成果、琉球・朝鮮に対する強圧的な外交の推進を学び、それらがその後の日本にどのような意味を持ったのかを理解する。新政府の改革に対する不協和音は、上野や同輩の民権者(自由民権論者)の活動が中心。 ○自由民権運動の広がりと松方正徳の展開による民権運動の変化、また、資本主義発達の基盤が整備されたことを学ぶ ○大日本帝国憲法の編纂過程とその特徴、諸法典の制定を学び帝国憲法体制の性格と意義を考える。 ○条約改正交渉の過程を学び、それが日本の国内状況と国際情勢によって進展したことに着目させ、国際環境の歴史における役割等について考察させる。	18
7月10月	2学期中間考査	日清戦争 日清戦後経営 4 日露戦争前後の世界と日本 日露戦争 日露戦争後の国際関係・桂園時代 両世界大戦をめぐる国際情勢と日本 1 帝国日本と第一次世界大戦	○日本と朝鮮および清三国がどうして日清戦争を引き起こしたのか、戦争の経過と下関条約を学び、三国の関係が戦後どのように変化していったのかを学ぶ。 ○日本と朝鮮および清三国がどうして日清戦争を引き起こしたのか、戦争の経過と下関条約を学び、三国の関係が戦後どのように変化していったのかを学ぶ。 ○日清戦争後の日本国内の政治の展開を議会を軸とした政府と政党との関係に着目して学び、それが日本の国家政策にどう影響を与えていったかを考察する。 ○朝鮮・満州をめぐる日清戦争の講和条約調印までの経過、国内政治の推移について考察する。 ○第一次世界大戦に参戦した日本が、中国侵略を進めた経緯、日本と中国さらに欧米諸国との関係について考察する。	21
10月12月	2学期期末考査	パリ講和会議と東アジアの独立運動 大戦景気と社会運動・民衆運動のひろがり 2 政党政治と大衆文化 政党政治 関東大震災と強まる思想統制 ワシントン体制	○大戦後の平和や軍備削減を尊重する風潮が広まるいっぽう敗戦国への過酷な処分が次の戦争につながっていくこと、各地での独立運動が広がっていくことに注目させる。 ○大戦景気により債務国から債権国へ転換したことが日本社会の構造にまた民衆生活にどのような影響を与えたのかを考察する。 ○第二次護憲運動の展開を学び、「憲政の常道」が実現した一方で治安維持法が成立し、統制も強化されたことに着目し、日本社会の問題点を考えさせる。 ○関東大震災とその影響、震災後の不況と政府の対応などがその後の軍部の勢力発展につながっていくこと等を理解させる。 ○第2学期期末考査 ○ワシントン会議により国際協調体制、中国民族運動の発展に対する、軍・右翼の反発について考察する。	21
12月3月	学年末考査	3 軍国日本への道 社会不安と昭和恐慌 軍部の台頭 日中全面戦争 戦時統制と国民生活 4 太平洋戦争と日本 高度経済成長の時代 冷戦の終結と日本	○昭和恐慌の中で金融や産業の独占が進み、いっぽうで社会不安が増大し、軍部や右翼などの動きが活発化したことを学ぶ。 ○満州事変が拡大する中、政党内閣が倒れ、いっぽう日本が国際社会から孤立していったことを理解する。 ○日中全面戦争の経過とその中で戦時統制が強められ国民生活が圧迫されていったことを学ぶ。 ○太平洋戦争の開始により第二次世界大戦が文字通りの世界戦争となったこと、その経過・影響について理解する。 ○55年体制の下で実現した高度経済成長と、冷戦終結等の国際環境の変化・国内の社会構造の変動のなかでの今後の日本の課題について考える。	27

評価の観点・方法	定期考査・学習状況を総合的に評価する
----------	--------------------